

# 医療連携だより

第22号 平成28年5月

発行

越谷市立病院

医療連携室

越谷市東越谷 10-47-1

電話 048-965-2221

(内線 3135、3114)

FAX 048-965-5222

## 脳卒中領域の病診連携について



越谷市立病院

副診療部長(兼)脳神経外科部長

角田 朗

今年4月より、副診療部長を拝命いたしました。越谷市立病院に赴任して20年になりますが、実際にやってきたのは脳神経外科診療ですので、今回はその中でも我々が特に力を入れている脳卒中領域での病診連携について、私見を述べさせていただきます。

脳卒中の発症時には、実際のところ連携に関する手続きをする余裕は無いことが多いです。患者さんは一刻も早く、脳卒中専門医のいる病院に搬送されなければいけません。クリニックの外来で発症した脳塞栓の患者さんをすぐに救急車で送っていただき、超急性期血栓溶解療法で劇的な症状改善を得られたこともありました。一方で、突然の頭痛の患者さんを翌日受診するようにしたために、その晩に致命的な出血となってしまったくも膜下出血の患者さんもいました。脳卒中の急性期には、時間のかかる手続きはいりません。とにかく早く（やはり救急車が一番と思いますが）専門病院に搬送することを患者さんに指示・指導していただくことが、なによりの連携となります。

慢性期の連携に関してですが、当院には年間400名近くの脳卒中患者さんが入院し、そのすべての患者さんのアフターケアを行うキャパシティーはないので、その大部分をクリニックを開業されているかかりつけの先生にお願いすることになります。たとえば脳梗塞後の二次予防には長期にわたり抗血栓剤を服用することがほぼ必須ですし、その他にも高血圧や糖尿病などの動脈硬化の危険因子の管理がとても重要になります。おそらくこれらは、内科系の先生方のほうが我々よりも数段上のレベルにおられるはずです。

慢性期の患者さんの定期的な画像検査のご依頼がありますが、こういった場合に関しては通常の病診連携室のシステム（FAX連携や地域医療連携システム [Web予約]）をご利用いただければと思います。ただし、癌などの悪性疾患と違って、脳卒中は症状が無い時期に画像検査をしても、早期発見や発症の予測ができるわけではありません。普段の検査より、症状がでてからいかに早く画像診断ができるかのほうが、遙かに重要です。

繰り返しになりますが、脳卒中は発症した時にいかに早くしっかりした診断・治療ができる病院にたどり着けるかが勝負です。状況に応じて、形式にとらわれない対応をしていただくことが、脳卒中に関してはなによりの病診連携と思います。

今後ともよろしくお願い致します。



## 耳鼻咽喉科からの診療制限のお知らせ

耳鼻咽喉科では、常勤医師が不在のため、当分の間、入院・手術等の受け入れを停止させていただきます。

また、外来診療日につきましては、下記のとおりです。(平成28年5月1日現在)  
患者様及び関係医療機関の先生方には、大変ご迷惑をおかけしますがご理解を賜りますようお願い申し上げます。

○外来 診療日 月曜日 (受付時間は午前10時まで)  
火曜日 ( // )  
水曜日 ( // )  
木曜日 ( // )  
金曜日 予約患者のみ

○入院 受け入れは、当分の間停止させていただきます。



## 「医療連携証」の発行と「地域医療連携システム」の利用について

### 1 医療連携証の発行について

これまで、地域医療機関の先生方と当院は、さまざまな連携により地域医療の発展に努めてまいりました。この度、当院との医療連携協力機関である証として「医療連携証」を希望する医療機関に発行いたします。

### 2 地域医療連携システムの利用について

医療機関間の機能分化を進め、紹介に基づく診療や検査について、FAXを利用した病診連携予約を行っています。平成28年度からは、FAX予約だけでなくインターネットを利用した診療予約・検査予約を24時間簡単に確実に予約できる「地域医療連携システム」をスタートします。

### 3 申込みについて

現在、各医療機関の先生方へご案内の発送を順次進めております。お手元に届いてない医療機関様におかれましては今しばらくお待ちください。

また、お申し込みいただいております医療機関の先生方には、まもなく医療連携証並びにアカウント・パスワードを発送いたしますのでよろしく願いいたします。

